

# Architects' style

建築士 こおりやま

No.69 令和6年3月発行

## 支部理事会

<支部執行部> 令和5年4月19日(水) ホテルバーデン

理事44名中26名の出席で審議が行われ、審議後に昼食をとって解散となりました。

## 支部通常総会

<支部執行部> 令和5年5月19日(金) 郡山ビューホテルアネックス

「第73回通常総会」が総会45名、懇親会57名にて開催されました。

支部長あいさつ、事業・決算報告、事業計画の発表、予算(案)の承認が行われ議案すべて可決されました。



## 本部通常総会

<本部執行部> 令和5年6月23日(金) 福島市 パルセイイざか

「第73回通常総会」が会員151名、来賓18名にて開催されました。郡山支部からは24名の参加でした。会長あいさつ、事業・決算報告、事業計画の発表、士会功労者への表彰、名誉会員委嘱状の交付、感謝状の授与が行われました。

郡山支部より、会長功労者表彰は、溝井宇一氏、今泉義明氏が表彰され、名誉会員委嘱状の交付は、村上一信氏が委嘱されました。



# 東北ブロック青年大会・青年の集い

<青年委員会> 令和5年3月25日(土) コラッセ福島

## テーマ「つどい、つなげる」

藤村 圭城

「第12回東北ブロック青年大会ふくしま大会×第37回福島県建築士会青年の集い」が開催されました。東北地方の建築士会青年委員会及び来賓の方々等々で参加人数は約120名で大変盛況な大会でした。本大会は、建築士同士の交流促進や情報共有の場として毎年開催されています。

【基調講演】では、ぼんぼり光環境計画(株) 角館まさひで様を講師として迎え、「あかりからのまちづくりー街と建築の融合ー」と題してご講演をいただきました。地域の特徴を可視化するあかりによって、特徴や魅力が増幅し、結果、沢山の人が訪れる場所となる。同時に地域のコミュニティーも育成され、地域の活性化を促進する事となる。照明計画の視点から建築物、まちづくりの実例を交えた大変興味深い内容でした。

【地域実践活動報告会】では、各県の建築士会の代表による活動報告が行われ、それぞれ地域の特徴や建築士会の今後の在り方など、いずれも建築士の役割を積極的にアピールした内容でした。発表後、参加者の投票により秋田県建築士会が東北代表に選出されました。

共同開催となった福島県建築士会青年の集いでは、青年委員会による地域実践活動「レポートコンペアーコレ2022」テーマ『地域材』の表彰式が行われました。

◎会長賞：郡山支部 帆刈大輔氏「海老根伝統手漉和紙」

○青年委員会賞：郡山支部 柳沼幸代氏・三浦由香里氏「LB Design Panel」

大会の終了後は、ホテル福島グリーンパレスにて懇親会が開催されました。例年、各県の地酒をそれぞれ持ち寄り、自慢の地酒を振る舞う日本酒党には最高の宴でした。

このような大会を通して、今後とも建築士の連携、技術の向上を目指し、安全で住みやすい街づくりの一助となればと思います。



## 建築士の日 全県一斉相談会

<支部執行部> 令和5年7月1日(土) ビッグアイMOLTI 2F

7月1日は「建築士の日」(1987年 日本建築士会連合会が制定)です。  
建築士の社会的な意義を広くPRすることを目的に、建築物に関する様々な不安を持つ県民のための『安心安全すまいの相談会』を県内の各支部で一斉に実施しました。  
郡山支部でも青年、女性委員会を中心に有志による相談会が実施されました。



## 支部親善ゴルフ大会

<会員拡大・交流委員会> 令和5年9月26日(火) グランディ那須白河ゴルフクラブ

郡山支部 親善ゴルフ大会は気温20℃越えの中、参加者15名で開催されました。

結果は、優勝 幕田宙晃氏、準優勝 鈴木功一氏、3位 金田岩光氏でした。

今回参加された皆様お疲れさまでした。令和6年度は例年以上の参加人数になることを期待したいと思います。



## 福島県違反建築防止週間郡山市公開建築パトロール

<支部執行部> 令和5年10月19日(木) 郡山市内各所

毎年「福島県違反建築防止週間」に合わせて郡山市が公開建築パトロールを行っており、令和5年度の違反建築防止週間時期は10月15日(日)から10月21日(土)でした。

本年度も郡山市の要請を請けて青年委員会より会員2名が都市構想部開発建築指導課職員の方々と共に18箇所のパトロールを実施しました。完了検査前に確認表示板を撤去してしまう事例が多く見受けられました。(出発式参加者:都市構想部 部長 池田様、次長兼開発指導課長 鈴木様、課長補佐 門澤様、建築指導係長 和泉様、技査 木目沢様、技査 岸様、技査 佐藤様、技査 中谷様、郡山支部支部長 高橋氏、青年委員 帆刈氏、影山氏)

# 第32回 全国女性建築士連絡協議会（石川）

<女性委員会> 令和5年7月29日(土)～30日(日) 石川県金沢市 金沢市文化ホール

## テーマ「守り・育て・受け継がれる技術、手仕事」～伝統工芸と建築～

今回の全建女は昨年に続き全国からの会場参加とオンライン参加のハイブリッド形式で開催され、郡山支部からは、会場2名とオンライン1名が参加しました。



【被災地報告】では、村越氏が東北4県を代

表し10分間の発表を行いました。3.11大震災による東北地方太平洋沿岸で被災された地域復興の、今の様子を映像で知ることができ、震災伝承ロードを旅した感覚となる発表でした。

【基調講演】は、金沢学院大学名誉教授の大場吉美先生を講師に迎え、“石川らしい文化でおもてなし 北陸新幹線金沢駅舎は伝統工芸による「美術館のような金沢駅」と題して講演いただきました。

2日目の【分科会】では、6つの分科会から事前に視聴したいテーマを選択でき、B分科会では福島支部よりテーマ「バリアフリーのまちづくり／みんなで考えるバリアフリー」の発表がありました。

# 東北ブロック会 女性委員会 あおもり大会

<女性委員会> 令和5年9月16日(土)～17日(日) 青森県八戸市 ポータルミュージアム はっち

## テーマ「女性建築士がつなぐ未来への懸け橋」

### ～東北女性建築士の活動と、八戸に新しい風を！～

本大会は八戸市中心部にある会場で、一般の方々が自由に見学できる展示スペースを設け、新しい試みでの大会となりました。

【基調講演】では、STUDIO MIKIX代表 建築デザイナーの高砂充希子様を講師に迎え「モノから体験へ」と題して講演いただきました。

八戸市出身である高砂様は、地元を盛り上げるアートイベントも積極的に展開し、その様子もご紹介頂きました。

【活動報告】は、従来の各県がスライドで発表する形式ではなく、北3県、南3県に分かれてトークセッションを行ない、展示ブースにてiPadで各県製作の動画を上映。訪れた一般の方々が画面を覗き込んでいるのが印象的でした。

福島県は毎年開催している「女性建築士のつどい」の写真をスライドショーにして提出しました。また、全建女で【被災地報告】のドラレコ動画を製作した話なども行ないました。

今回公式にはZoom配信を行なわなかった為、村越氏が個人的にZoom配信を決行。大会終了後に写真撮影で、もみくちゃになっている映像や実際に会場内を歩き回って、どのような展示がされていたかなどを記録に残す事ができました。(ただし休憩中の映像なども入っており、編集と配布はいつになることやら…)

何はともあれ、充実したブロック大会でした。



## 支部研修旅行（全国大会）

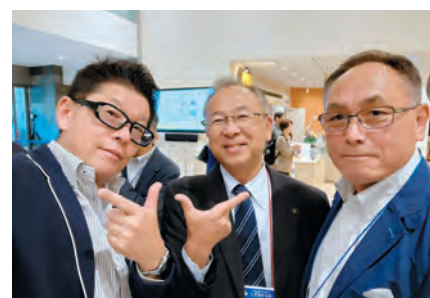
<会員拡大・交流委員会> 令和5年10月27日(金)～29日(日) 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ・他

松谷 光晃

10月27日から29日の3日間、建築士会全国大会「しずおか大会」を含む研修旅行へ緊張と不安のなか初めて参加させて頂きました。初日が全国大会の開催場所、“静岡県コンベンションアーツセンター”を訪れました。

外観は船をイメージした形らしく「グランシップ」という愛称がついているようですが、今話題の“どうする家康”の兜のような形にも見える外観でした。美しい建物のなかで大会式典へ出席し、企業出展や物産展を通じて新たな知識やスキルを学び非常に刺激的な一日でした。

2日目は朝食後、建築家隈研吾氏設計の“日本平夢テラス”へ向かいました。木材がふんだんに使われており八角形の建物・屋根・螺旋階段・展望デッキなど木材の使い方がとても興味深く、美しい景色と共にリフレッシュしました。ただ、久能山東照宮参拝がロープウェイが混雑することにより急遽変更となってしまったことがとても残念に思いました。昼食は、新鮮な鮪づくし定食を味わいました。静岡県がマグロの水揚げ量が日本一なことにも美味しさと共にビックリでした。その後、“東海道広重美術館”と“静岡県富士山世界遺産センター”を訪れました。特に富士山世界遺産センターの外観は、鮮烈なインパクトを与えてくれました。富士山に関する貴重な情報や歴史・文化について学ぶことができ、展示物や映像を通じて日本人の誇りでもある富士山の大自然



の美しさやその存在の重要性を改めて実感するとともに、富士山の登山や周辺の観光スポットについての情報も得ることができました。

いよいよ研修旅行も最終日、朝一より、“富士山本宮浅間大社”へ参拝をし厳かな雰囲気の中心を清める時間を過ごし、日本最長の歩行者専用吊り橋といわれる“三島スカイウォーク”へ。標高415mからの絶景スポットは美しい風景を一望することができます空中に広がる吊り橋をわくわくしながら渡ると、高所からの眺めは圧巻で、まるで空中散歩をしているような感覚に包まれます。風の音や景色の豪快さは素晴らしくそれを楽しむとともにこの大きな吊り構造は心に感動を与えてくれました。昼食は静岡ということもあり、うな重をととても美味しくいただきました。そし



て最後の見学場所、“三島スカイウォーク”です。ここでは、近代日本の産業革命の遺産といわれ工業立国の礎を築いた鑄鉄の歴史やそれを支えた人達についても学べ、先人たちが今の日本の基盤を築いてきたことをしみじみ感じました。



今回、初めて参加した建築士会全国大会及び研修旅行は、見所満載の観光地巡りと皆さんの食べっぷり・飲みっぷりに驚愕することが多かったとても学び多い充実した3日間でした。皆さんもこの紀行文を通じて静岡の魅力や素晴らしさを再度、思い出して頂ければ幸いです。3日間の楽しい研修旅行をありがとうございました。



「しずおか大会」が開催され、郡山支部の研修会もかねて、10月27日～29日の日程で静岡県へ行ってきました。新幹線で約3時間、静岡駅に着きおいしいお昼をいただいてから会場である、“静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ”へ。

「歴史と文化の継承～ローカルに生きる～」が大会テーマであり、富岳太鼓による和太鼓の迫力のある演奏で大会式典の幕が開きました。開会宣言・静岡県建築士会会長のあいさつがあり、国歌斉唱・祝辞・各表彰式が行われ、来年開催地である鹿児島県の建築士会会長のあいさつ・大会旗が引き継がれ、式典の幕が下りました。



会場はとても大きく壮大で、圧倒された記憶が今でも鮮明に覚えています。私自身初めての全国大会で、支部の方々にお支えいただきながら参加することができました。



2日目は、国立競技場を設計した建築家でおなじみの隈研吾氏が手掛けた、“日本平夢テラス”の見学から始まりました。木材を複雑に組み合わせた梁や、角材を並べただけのように見える階段があり、見どころ満載の建築物でした。建物のまわりを囲うようにしてある展望回廊はとても開放的であるとともに、床梁がまた魅力のある

もので、隅々まで楽しく見て



いられる“日本平夢テラス”でした。天気は快晴でしたが雲が多く、富士山の姿をはっきり見ることはできませんでしたが、駿河湾や静岡市内を一望でき、とても素敵な眺めでした。

“日本平夢テラス”をあとにし、“三保の松原”にお邪魔し広い海を眺め、“東海道広重美術館”にて浮世絵師で有名な歌川広重の浮世絵を鑑賞しました。色の使い分けや遠近法など、細部まで



細かく描かれており、初めてじっくり鑑賞することができ、浮世絵の魅力を感じました。

2日目最後は、建築家の坂茂氏が手掛けた“静岡県富士山世界遺産センター”に行きました。逆さ富士の形をした迫力のある建築物で、外部にある水面に映る建築物の姿はとても美しかったです。ロビーには設計図があり、皆さん設計図に釘付けになっていました。内部は富士登山の疑似体験ができるような上階に向かって螺旋スロープの造りになっており、雰囲気ともに素敵なものでした。

3日目最初は、“富士山本宮浅間大社”を訪れ、参拝し、湧玉池の透き通った湧水を眺め心清らかになりました。

“浅間大社”からバスに揺られ、次に訪れたのは“三島スカイウォーク”です。日本最長400mの吊橋は気持ちのいい場所でした。高所恐怖症の方には怖いものでしたが、渡り切った先の建物に吊橋ができるまでの施工を紹介したコーナーがあり、吊橋を両側から支えている主塔のデザインも厳選され今の主塔になった経緯や、ケーブルの一部が展示されていました。近くで見ると太くて重いケーブルを使いこの吊橋を竣工させたのだと思うと、様々な知識と技術が合わさってできた吊橋なのださらに興味がわきました。

お昼は、静岡県といえぼのうなぎをいただき、その後世界遺産である“韮山反射炉”に向かいました。施設の方のガイド付きで反射炉について知ることができました。反射炉内部はしっかり鉄を溶かすため、ドーム状になっており、その当時の技術者の知識のすごさに圧倒されました。歴史的な施設を訪れることができうれしく思います。

その後三島駅に向かい、新幹線を乗り継ぎ参加者全員元気に郡山に帰ることができました。

今回参加させていただき、建築士会全国大会の雰囲気や、静岡県の魅力をたくさん知ることができました。建築士同士で行く研修会だからこそ、行く先々でする会話がとてもためになるものばかりでした。

最後に今回、企画・運営・準備をしてくださった方々に感謝を申し上げ、参加レポートといたします。





## 第34回 女性建築士のつどい

<女性委員会> 令和5年11月11日(土) ラコパふくしま

### テーマ「誰一人として取り残さない！環境づくり／SDGsの視点から」

今回のつどいはリアル+オンラインのハイブリッド形式で開催され、郡山支部からは、リアル7名とオンライン1名が参加し、午前中は福島支部さんの案内で会場を出発し福島駅前周辺の建築物を見学、まちなみを散策しました。途中、蕎麦屋に立ち寄り会話を楽しみながらのランチを堪能し、会場に戻りました。

午後からのつどいは、テーマに合わせ【基調講演】では、日本女子大学 浅野由子先生を講師に迎え、「SDGsの視点から見た建築・保育環境スウェーデンの事例から」と題して講演いただきました。とても興味深いお話に予定時間を超えて質疑応答が飛び交いました。浅野先生には、この場をお借りしまして御礼申し上げます。

休憩後、【活動報告】を今回は各支部の参加者が登壇し、代表者が報告を行いました。



## 応急危険度判定 模擬訓練への協力

<支部執行部> 令和5年11月21日(火) 実地場所：郡山市仁池向団地

令和5年度 被災建築物応急危険度判定模擬訓練が郡山市で開催されることになり、支部への協力要請を受けました。

爆弾低気圧の中、支部長はじめ7名にて供試体の組み立てや誘導案内等を行い、11組23名の判定訓練者が受講されていました。

協力いただきました皆様、ほんとに寒い中ありがとうございました。また、お疲れさまでした。



## 郡山支部セミナー

<講習・まちづくり委員会、女性委員会> 令和5年12月1日(金) ASJ郡山スタジオ

『ZEH基準住宅展示場見学会及びZEHエネルギー計測データに基づく講習会』を大場氏のご厚意で開催しました。19名が参加し、オオバ工務店小林様より、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー）住宅の概要、ZEH基準住宅展示場の性能と仕様について、更に実際の電気使用の状況についてグラフ化した資料をもとにわかりやすく説明いただきました。その後、全員で隣接の【ZEHハウスabo-アビオ-】を見学、快適住空環住宅を見て聞いて感じる貴重な体験をさせていただきました。専門的な質問もあちこちで飛び交い、とても有意義な講習会となりました。



今回の開催にあたり、会場の準備、資料作成、説明と案内等をしてくださった大場氏をはじめスタッフの方々の真摯な対応に対し、この場をお借りし感謝申し上げます。

## 支部忘年会

<総務委員会> 令和5年12月1日(金) 郡山ビューホテルアネックス

令和5年度の忘年会が42名の参加人数で開催され、来賓の衆議院議員 根本匠様と郡山市長 品川萬里様から挨拶を頂き、各テーブルにて参加者との意見交換が行われました。



## お菓子の家づくり

<青年委員会> 令和5年12月23日(土) こども総合支援センター

青年委員会の恒例行事となっている「お菓子の家づくり」が開催され、今年はクリスマス直前の休日開催という事もあって、満員御礼の大盛況となりました。

各新聞社の他、福島テレビさんが取材に訪れ、その日夕方放送の「サタふく」にて開催の様子や参加したお子さんの感想などが放映されました。

参加した中には建築士を目指していると言うお子さんも2人おり、将来に期待が持てた半面、夢を持って頑張る子供たちに幻滅されないよう、あらためて気を引き締める先輩なのでした…(笑)



# 第38回 青年の集い 猪苗代大会

＜青年委員会＞ 令和6年1月19日(金) ホテルリステル猪苗代

## テーマ「持続可能な地球環境と在り方」

【基調講演】は、NPOサウンドウッズ 代表理事 安田哲也様を講師に迎え、「持続可能な社会づくりのために地域の建築士が果たす大切な役割」と題し、「価値のある人工林資源に着目し、生産される木材をまちで暮らしに役立て、価値に見合った収益を森に返し、次世代に森を引き継ぐ仕組みをつくる」について香美町立村岡小学校幼稚園（兵庫県）等の実例を交えて、大変興味深いお話をいただきました。

【地域実践活動報告】では、公益社団法人福島県建築士会 猪苗代支部。「マンガで伝える地球の森と未来」の発表がありました。猪苗代支部では、町民や未来を担う学生・子どもたちとの地球環境の啓蒙・啓発を活動目的として、林業後継者不足・SDGs・地域に根差したストーリーのマンガを作成。地域の小学校に配布し未来の環境に興味をもっていただくという関心を高くする発表でした。

マンガタイトル：いのりんと考えるSDGs ～みんなで守る猪苗代の森と未来～

【協賛企業講演】は、株式会社コンピュータシステム研究所、株式会社吉田設備様。

「レポートコンペ アーコレ2023」テーマ『建築物』（福島県建築士会青年委員会 地域実践活動）の表彰式も行われました。

◎大賞：会津支部 小野光智氏「初溪土楼群」

○青年委員長賞：郡山支部 阿部直人氏「パンテオン（ローマ）」

今年度から次世代へつなぐ部門として、福島県内の建築科がある工業高校へ参加要請し、今回は福島県立白河実業高等学校と福島県立勿来工業高等学校の2校に参加いただきました。

参加者はご来賓20名、青年委員会45名でした。

来年度 第39回青年の集い は、相馬支部主催となります。多数のご参加をお待ちしております。



## 住宅センター出前講座

＜女性委員会＞ 令和6年2月28日(水) 郡山市民交流プラザ

講師 一般財団法人 ふくしま建築住宅センター 担当職員

毎年恒例の女性限定出前講座は、省エネ法設計「仕様基準ガイドブック」の使い方と、よくある質問・間違いやすいポイントなどをお話し頂きました。

講座終了後は会場を移し、普段はなかなか行けない「お料理 角さん」へ…。会費はいつもより高めでしたが、ゆったりとした空間で味わう豪華なお料理は格別です。

美味しいお料理に舌鼓を打ちながら、今後もこんな「女子会」を継続して行けることを願って止まない、編集のNなのでした…。



## 『現場の困りごと、お引き受けいたします』

メタルファンテック株式会社 代表取締役社長 只野 準

会員の皆様には、日頃より大変お世話になっておりますこと、改めて御礼申し上げます。  
 弊社は、主に金属工事・杭工事・金属製建具工事・硝子工事で皆様にお世話になっております。  
 数ある販売店の中でも、弊社は一業種だけの取り扱いではないことから、多岐にわたる製品と豊富な知識で、様々な現場での困りごとに対応させていただいております。

また、その知識・経験を生かして、設計段階での、製品の詳細な説明・図面などのお手伝いをさせていただいております。特に、製作金物は、様々なデザインや役割がありますが、やり方によってはコストや使い勝手など千差万別です。お客様のご要望をよく聞いてご提案できるように日夜経験を積んでおります。

お客様からは、弊社に問い合わせいただければ、何社も話をしなくても、すぐ要件を終えることができ、仕事をスムーズに進めることができると重宝していただいております。

弊社で受注していない工種でも、取り合いの打合せなどよくご質問していただいております。

勿論、杭工事においても豊富な知識と経験で、単一メーカーではできないご提案も考えることができます。

弊社は、創業してから18年が過ぎ、社員も高齢化が進んでおります。社員のほとんどが、創業前から同じ業界で、研鑽を積んできたベテランばかりです。

会社存続の為、新入社員の募集をしているところですが、先達の知識と経験を継承しながら、時代に合った新しい仕事のやり方を取り入れ、より皆様のお役に立てるような会社にしていけるように努力する次第です。

皆様には、長年お世話になっております、福原隆一郎・吉田朝男共々、今後ともよろしくお願い申し上げます。

是非とも、弊社にご用命いただければ、必ずや皆様のお役に立つようしっかりと対応させていただきます。

何卒、これまで以上のご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



## 私の選択は間違っていなかった

選んだのは、合格者の50%以上が進んだ王道ルートでした。



総合資格学院イメージキャラクター  
 令和4年度 一級建築士試験合格 当学院受講生・併修  
 田中 道子さん  
 今年も一級建築士合格  
 総合資格の道で人生を豊かにしたい。

総合資格学院は  
 東北開講5県  
 1級建築士合格実績

# No.1

令和5年度 1級建築士 学科・設計製図試験  
 東北開講5県合格者占有率  
 東北開講5県（岩手県・秋田県・宮城県・山形県・福島県）  
 東北開講5県合格者 111名中 /  
 当学院当年度受講生 65名

# 58.6%

他講習  
 利用者  
 1級  
 建築士  
 当学院  
 受講生

※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。◎都道府県合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表による。◎総合資格学院の合格実績には、検定試験のみを受験生、教材購入者、無料の夜校生、過去受講生は一切含まれておりません。(令和5年12月26日現在)



総合資格学院



郡山校

福島県郡山市虎丸町24-8 AIG郡山ビル 1F

TEL 024-921-0041

暖冬の今シーズン、でも2月の大雪で腰を痛めそうなくらいの雪かきでした。

情報・広報委員長として2度目の広報誌の発行になり、今回も郡山支部全体及び各委員の活動、賛助会のPR等を掲載しました。

新型コロナが5類引き下げになってからの行事なので、いろいろな活動に出席者が増えてきたことは嬉しい限りです。それでも、いつもの面々の出席者で賑わった一年間の活動でした。

次回はNo.70広報誌の発行になります。今まで不参加の方々も参加してみたいと思える記事を掲載できればと思います。今年度もご協力いただきました皆様ありがとうございました。

## 福島県建築士会郡山支部

郡山市大町一丁目2番23号KIK'ビルW22(西2階)  
 TEL & FAX 935-2151

URL : <http://kenchikushi-koriyama.com/>  
 Mail : [info@kenchikushi-koriyama.com](mailto:info@kenchikushi-koriyama.com)